

5. 研修シラバス

(1) 受講の準備

導入動画

課題名	介護現場の生産性向上	総時間	60分
目標	介護現場の生産性向上に関する国の取り組みと、基本的な考え方を確認する。		

<p>厚生労働省の生産性向上に関する次の2つの動画を視聴すること。</p> <p>①「介護現場の生産性向上における厚生労働省の取組等について」（厚生労働省老健局高齢者支援課介護業務効率化・生産性向上推進室）</p> <p>②「介護サービスの生産性向上の基本と取組のポイント～介護経営としての業務改善の考え方と今日からできること～」（株式会社 TRAPE）</p> <p>参考： 「2023 介護事業所向け生産性向上ビギナーセミナー」(厚生労働省サイト)https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei_seminar2023.html ※動画で使用しているスライド資料をダウンロードできます。</p>	<p>動画視聴</p> <p>YouTube： 「生産性向上の取組に関する介護事業所向けビギナーセミナー（関東）」</p> <p>「介護現場の生産性向上における厚生労働省の取組等について」（22分）https://youtu.be/DSmZFALVp_g?list=PLMG33RKISnWjZ_6jvnqvBsThb8WmuFQb0</p> <p>「介護サービスの生産性向上の基本と取組のポイント」～介護経営としての業務改善の考え方と今日からできること～（36分）https://youtu.be/FRW5ujjTrr4?list=PLMG33RKISnWjZ_6jvnqvBsThb8WmuFQb0</p>
--	--

(2) オンデマンド動画（必須）

介護過程の実践力

科目名	介護過程の応用的理解	総時間	70分
目標	介護福祉士の実践の基盤である介護過程に関する知識を確認し、介護ロボット・ICT活用を利用者の支援につなげる視点と、PDCAの考え方を理解する。		

動画	含まれる内容	時間	教材等
動画①	1. 介護過程の概要 (1) 介護過程とは (2) 介護過程の意義と目的 (3) 介護過程の展開	40分	「令和3年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果」（厚生労働省サイト） https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000196989_00024.html 『【施設・事業所向け手引き】より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き）パイロット事業令和2年度版』（令和3年3月、厚生労働省老健局高齢者支援課） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_shisetu_Guide.pdf
	2. 生活支援の考え方と介護過程 (1) アセスメントの視点・方法 (2) アセスメントとICF		
	3. 介護計画 (1) 介護計画とは (2) 個別介護計画の立案		
動画②	4. 介護ロボット・ICT活用と介護過程 ・自立支援を目的とした活用に関する事例 ・介護ロボット・ICT活用によるアセスメントに関する事例 ・介護ロボット・ICT活用による利用者のモニタリングに関する事例	25分	※参考資料 令和2年度社会福祉推進事業『介護現場における介護過程実践の実態調査及び効果検証に関する調査研究事業根拠に基づく介護実践のヒント介護過程 実践事例集』 https://www.comon.jp/dl/2105_all.pdf
	5. まとめ ・介護過程とは ・アセスメントの視点 ・介護ロボット導入の目的	5分	

科目名	科学的介護の基礎的理解	総時間	90分
目標	ケアの質向上に向けて科学的介護を実践する意義と、基礎的な知識を習得する。		

動画	含まれる内容	時間	教材等
動画①	1. 科学的介護の理解 (1) 科学的介護とは (2) エビデンスにもとづいた介護の実践 (3) 科学的介護のめざす姿	45分	<p>「科学的介護情報システム（LIFE）による科学的介護の推進について」（厚生労働省老健局老人保健課）https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000949376.pdf</p> <p>※参考資料【動画】 「パーセルインデックス（BI）の評価方法について」（厚生労働省）https://youtu.be/d4Sb83VgxPA</p> <p>※参考資料【動画】 「令和4年度科学的介護に向けた質の向上支援等事業研修会」（厚生労働省）https://youtu.be/M8y67itHiis</p> <p>『ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム（LIFE）の利活用に関する事例集』p15～18（厚生労働省）https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000964348.pdf</p>
	2. 科学的介護情報システム（LIFE）の理解 (1) LIFE の役割 (2) フィードバック情報としての活用		
	3. 利用者の状態と介護のとらえ方 (1) 介護分野におけるデータの基礎的理解 (2) 測定する対象のとらえ方 ・単純集計 ・クロス集計		
	4. LIFE で用いられる評価指標 ・ Barthel Index ・ 障害高齢者の日常生活自立度 ・ 認知症高齢者の日常生活自立度 ・ Vitality Index		
動画②	5. フィードバックデータを活用したケア改善のための事例① LIFE の利活用に向けた体制等の準備（多職種協働での視点と情報共有）	40分	
	6. フィードバックデータを活用したケア改善のための事例② 自施設・事業所の特徴を把握する（着眼点の決定、全国平均との比較、大きな差異の探索、要因の検討）		
	7. まとめ ・ 科学的介護とは ・ LIFE の役割 ・ 評価指標の使い方 ・ データの活用方法	5分	

科目名	介護職の倫理と利用者の全人性・尊厳の実践的理解	総時間	70分
目標	尊厳の保持と自立支援の考え方を基に、利用者の生活全体をとらえる視点と、その尊厳が損なわれている状況に気づき実践を改善するための知識を習得する。		

動画	含まれる内容	時間	教材等
動画①	1. 尊厳の保持と自立支援の意味 ※日本国憲法、社会福祉法、介護保険法、障害者総合支援法、社会福祉士及び介護福祉士法をもとに理解する。	45分	
	2. 介護職の倫理の意味の理解 (1) 日本介護福祉士会倫理綱領の意味 (2) 生命倫理の4原則の意義		
	3. 虐待防止と身体拘束廃止の意味と実践 (1) 高齢者等の虐待の定義と実態 (2) 高齢者等の身体拘束の定義実態		
動画②	4. 介護ロボット・ICTの利活用と介護の倫理 ・利用者のプライバシーと尊厳に関する事例 ・利用者の自立支援と尊厳に関する事例	20分	
動画②	6. まとめ ・尊厳の保持と自立支援 ・介護の倫理と法的規定 ・高齢者虐待と身体拘束 ・介護ロボット・ICTの利活用と倫理	5分	

チームをまとめる力

科目名	チームがまとまり成果を生み出す考え方と方法	総時間	80分
目標	介護の質向上に結びつく業務の効率化をチームで生み出すための、リーダーシップ、フォロアーシップ、マネジメントのあり方と方法を習得する。		

動画	含まれる内容	時間	教材等
動画①	1. チームがまとまり成果を生み出すリーダーの役割 (1) リーダーシップとは（チームが構築され機能するための理論と方法） (2) チームで生きる、リーダーシップ、フォロワーシップ、マネジメント (3) スタッフの教育と指導	40分	『【施設・事業所向け手引き】より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き）パイロット事業令和2年度版』（令和3年3月、厚生労働省老健局高齢者支援課） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_shiset-su_Guide.pdf 『介護現場における生産性向上の取組を支援・促進する手引き』（厚生労働省老健局） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_shien_Guide.pdf
	2. メンバーのやる気と成長を支援する (1) 阻害要因の除去 (2) やる気と成長の促進 (3) フィードバックとアドバイス (4) メンバーの能力醸成		
	3. チームが機能する心理的安全性づくり (1) 心理的安全とは (2) 信頼との違い (3) 介護現場における心理的安全性 (4) チームが機能する心理的安全性づくりの方法		
動画②	4. 有効な業務改善を進める方法 (1) 業務改善の目的の明確化 (2) 介護現場の問題の発見と課題の見える可 (3) PDCA サイクルを活かす	35分	
	5. PDCA サイクルを循環してチームマネジメントする（PDCA サイクルのポイント） (1) 具体的な計画を立てる (2) 計画に沿って実行する (3) 実行した内容の測定や評価をする (4) 評価を基に対策や改善を行う		
	6. まとめ ・チーム構築とメンバー支援 ・チームの心理的安全性とは ・PDCA サイクルの理解	5分	

生産性を向上させる力

科目名	介護現場の問題発見と解決スキル	総時間	70分
目標	問題の本質を理解し、その発見から解決までのプロセスに活かせる、着眼点・発想の技法・業務改善手法の知識と技法を習得する。		

動画	含まれる内容	時間	教材等
動画①	1. 問題発見と論理的思考 ・問題とはそもそも何か ・問題の種類と、課題との相違点は何か	20分	『【施設・事業所向け手引き】より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き）パイロット事業令和2年度版』（令和3年3月、厚生労働省老健局高齢者支援課） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_shisetu_Guide.pdf 『介護現場における生産性向上の取組を支援・促進する手引き』（厚生労働省老健局） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_shien_Guide.pdf
	2. 論理的思考が見える化する ・論理的思考とは何か ・思考の発散と収束する意味 ・フレームワークの種類と効果		
動画②	3. 論理的思考が見える化する例① ・ロジック・ツリーの使い方	20分	
	4. 論理的思考が見える化する例② ・マンダラートの使い方		
動画③	5. チーム力を生み出す会議と対話 (1) 会議の意味と目的 (2) 会議をマネジメントするファシリテーション	25分	
	6. ファシリテーション技法 (1) 会議の目的を共有する (2) グラウンドルールの意義と効果 (3) 会議の進行方法 (4) 対話の見える化（板書の方法）		
	7. まとめ ・問題と課題の相違 ・論理的思考とフレームワーク ・ファシリテーションの意義とスキル	5分	
資料	8. 付録 ・問題発見のための思考の発散と収束技法 ・BS法、BR法、チェックリスト ・親和図法、セブncクロス法、マトリックス法	-	

科目名	介護ロボット・ICTの基礎的理解	総時間	40分
目標	利用者の自立支援や介護業務の負担軽減を実現するために必要となる、介護ロボット・ICTに関する基本的な知識を習得する。		

動画	含まれる内容	時間	教材等
動画	1. 介護ロボットとは (1) 介護ロボットの定義 ・重点分野 (2) 介護ロボットの例 ・移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援	35分	『【施設・事業所向け手引き】より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き）パイロット事業令和2年度版』（令和3年3月，厚生労働省老健局高齢者支援課） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_shisetu_Guide.pdf 『介護サービス事業（居宅サービス分）における生産性向上に資するガイドライン改定案～介護の価値向上につながる職場の作り方～』（令和4年3月，厚生労働省老健局振興課） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_kyotaku_Guide.pdf 「介護ロボットの開発・普及の促進」（厚生労働省） https://www.mhlw.go.jp/stf/eisakunitsuite/bunya/0000209634.html ・介護ロボットとは ・介護ロボットの開発支援について ・介護ロボットの導入・活用支援
	2. 介護ロボット・ICTに関する国や自治体の支援 ・生産性向上に資するガイドライン ・地域医療介護総合確保基金 ・介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業（相談窓口、リビングラボ）		
	3. 介護ICTとは (1) ICTとは (2) 介護ICTの例 ・介護ソフト、オンラインツール、インカム、デバイス		
	4. セキュリティ ・セキュリティ対策 ・個人情報保護		
	5. まとめ ・重点分野 ・介護ロボット・ICTの最適な使い方	5分	

事前課題（集合研修開始までに取り組む課題）

課題名	介護現場の生産性向上についての基本的な理解	総時間	-
目標	介護現場の生産性向上についての考え方や、具体的な取り組み方法や流れを理解する。		
	<p>1) 厚生労働省の生産性向上に関する動画「介護分野における生産性向上の取組の進め方」から、次の2つの動画を視聴すること。</p> <p>①「手順1 改善活動の準備をしよう」 ②「手順2 現場の課題を見える化しよう」</p> <p>2) 2つの動画を視聴したうえで、あなた自身が自職場で生産性向上に向けた改善活動や介護ロボット・ICT導入のプロジェクトチームのリーダーを上手く務めるためには、どのような知識・技術、職場環境が必要になるか、200～400字以内で記述してください。</p> <p>提出方法：研修管理システム『ケアウェル』 提出期限：受講申込をした集合研修の初回面接授業前日まで</p>	<p>動画視聴</p>	<p>「介護分野における生産性向上の取組の進め方」(厚生労働省サイト)：https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei-elearning.html 「手順1 改善活動の準備をしよう；背景理解～生産性向上とはなにか～」(8分) https://youtu.be/MOq3m2jpLHU 「手順2 現場の課題を見える化しよう；課題把握～生産性向上の一連のプロセス～」(8分) https://youtu.be/i1xtNHgpzSA</p>

(3) 集合研修（必須）

生産性を向上させる力

科目名	介護現場の業務改善（演習）	総時間	180分
目標	介護現場の業務改善を行うために必要となる、基本的な知識を習得する。業務改善の手順とツールの使い方を体験的に理解し、自職場での効果的な実践をめざす。		

授業	含まれる内容	時間	教材等
1・2 限目	1. 業務改善意識の醸成 ・プロジェクトチームの立ち上げ ・メンバーの選定	180分	『【施設・事業所向け手引き】より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き）パイロット事業令和2年度版』（令和3年3月，厚生労働省老健局高齢者支援課） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_shisetu_Guide.pdf 『介護サービス事業（居宅サービス分）における生産性向上に資するガイドライン改定案～介護の価値向上につながる職場の作り方～』（令和4年3月，厚生労働省老健局振興課） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_kyotaku_Guide.pdf 『介護現場における生産性向上の取組を支援・促進する手引き』（厚生労働省老健局） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_shien_Guide.pdf
	2. 業務改善プロジェクトの進め方 ・全体の流れ ・改善活動を実践する意義の伝達		
	3. 介護現場の課題の可視化 (1) 課題把握 (2) 業務時間調査 ・業務時間見える化ツール ・24時間シート		
	4. 人員配置の適正化		
	5. 課題解決の方針の決定 ・改善方針シートの作成 ・進捗管理シートの作成		
	6. 業務時間調査の演習 ・業務時間見える化ツールを使い業務時間調査 ・グループワーク		

科目名	介護ロボット・ICTの導入（演習）	総時間	180分
目標	介護ロボット・ICTの導入と適切な利活用を実現するために必要となる、基本的な知識を習得する。導入手順を体験的に理解し、自職場でのプロジェクトに活かす。		

授業	含まれる内容	時間	教材等
1・2 限目	1. 導入プロジェクトチームの立ち上げ	180分	<p>『【施設・事業所向け手引き】より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き）パイロット事業令和2年度版』（令和3年3月，厚生労働省老健局高齢者支援課）https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_shisetu_Guide.pdf</p> <p>『介護サービス事業（居宅サービス分）における生産性向上に資するガイドライン改定案～介護の価値向上につながる職場の作り方～』（令和4年3月，厚生労働省老健局振興課）https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_kyotaku_Guide.pdf</p> <p>『介護現場における生産性向上の取組を支援・促進する手引き』（厚生労働省老健局）https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_shien_Guide.pdf</p>
	2. 導入する介護ロボット・ICTの調査		
	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーサイト ・展示会 ・相談窓口（介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム） 		
	3. 国や自治体が行っている導入支援		
	4. 介護ロボット・ICT選定の基準		
	5. 導入計画の作成		
	<ul style="list-style-type: none"> ・導入講習会 ・マニュアル作成 		
6. 導入する介護ロボット・ICTの調査			
7. 導入計画の作成			
<ul style="list-style-type: none"> ・介護ロボット・ICTを導入するための具体的な計画を考えてみる 			

科目名	利用者支援に向けた活用（演習）	総時間	180分
目標	介護ロボット・ICT 導入による個別介護計画の見直しや、介護の質向上に向けた対応など、自職場での取り組みの報告をおし学習する。		

授業	含まれる内容	時間	教材等
1・2 限目	1. 導入計画の共有 <ul style="list-style-type: none"> ・自職場で取り組んだ導入計画を作成する課題についてグループ内で発表（導入計画の概要と進捗状況） 2. 利用者支援への活用についての事例検討（例） <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援を目的とした活用に関する事例 ・介護ロボット・ICT 活用によるアセスメントに関する事例 ・介護ロボット・ICT 活用による利用者のモニタリングに関する事例 ・介護オペレーションの改善によって生まれた時間の活用に関する事例 	180分	『【施設・事業所向け手引き】より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き）パイロット事業令和2年度版』（令和3年3月，厚生労働省老健局高齢者支援課） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_shisetu_Guide.pdf 『介護サービス事業（居宅サービス分）における生産性向上に資するガイドライン改定案～介護の価値向上につながる職場の作り方～』（令和4年3月，厚生労働省老健局振興課） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_kyotaku_Guide.pdf 『介護現場における生産性向上の取組を支援・促進する手引き』（厚生労働省老健局） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/Seisansei_shien_Guide.pdf

自職場での取り組み課題（集合研修のなかで取り組む課題）

課題名	課題① 業務分析	総時間	約 4 週間
目 標	受講者が中心となってプロジェクトチームを立ち上げ、自職場の課題を可視化する。		
	<p>1) 自職場で、受講者自身が中心となり業務改善のためのプロジェクトチームを立ち上げたり、委員会で取り上げる。</p> <p>2) 面接授業のなかで用いた業務改善ツールを使用し、チームで業務分析（課題の可視化）を行う。</p> <p>3) 研修のグループ内で、自職場の業務分析の結果について共有する。【次回面接授業】</p> <p>提出方法：研修管理システム『ケアウェル』 提出期限：指定された期日（目安：次回面接授業日の 3 日前）まで</p>		

課題名	課題② 介護ロボット・ICT 導入計画の作成	総時間	約 4 週間
目 標	業務分析によって可視化された課題を解決するために適切な介護ロボット・ICT を選定し、その導入のための計画を作成する。		
	<p>1) 面接授業のなかで用いた書式を活用し、自職場で介護ロボット・ICT を導入するための導入計画をチームで作成する。</p> <p>2) 研修のグループ内で、自職場の導入計画の概要と進捗状況について共有する。【次回面接授業】</p> <p>提出方法：研修管理システム『ケアウェル』 提出期限：指定された期日（目安：次回面接授業開催の 3 日前）まで</p>		

**日本介護福祉士会生産性向上中核人材育成プログラム
デジタル・テクノロジー基本研修 プログラム概要・募集要項
2023(令和 5)年度モデル研修版**

2023(令和 5)年 10 月発行
公益社団法人日本介護福祉士会 生産性向上中核人材育成プログラム検討部会
